

事業所防災リーダーに向けて、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。

火災統計からみる 冬季の事業所における出火原因と対策

今年11月8日に令和5年(1~12月)における火災の状況(確定値)が消防庁より発表されました。

東京都における火災は**4,365件**で、そのうち建物火災は**3,077件**。

住宅火災以外の事業所を含む火災は、**1,690件(54.9%)**となり、建物火災の**約半数**を占めています。

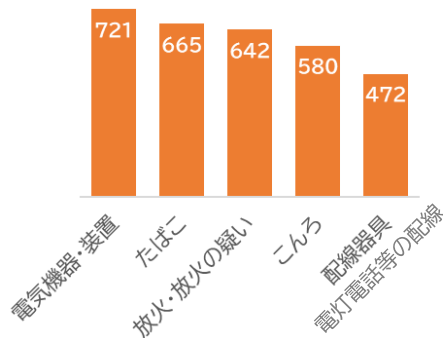
出典:総務省消防庁『令和5年(1月~12月)における火災の状況(確定値)について(令和6年11月8日)』



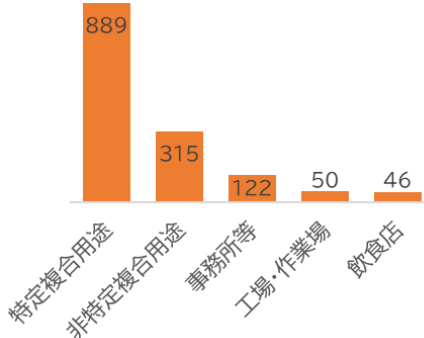
東京都における火災件数(上位5つ)

東京都における火災4,365件の出火原因のうち、事業所に関連するものでは、電気機器・装置、放火、配線器具が多くなっています。また、非住宅建物での火災1,690件のうち、約半数が特定複合用途の建物で発生しています。

出火原因別の火災件数
(全4,365件) ※その他含む



非住宅建物用途別の火災件数
(全1,690件) ※その他含む



- 特定複合用途の建物
飲食店、物品販売店など、1つの建物で2つ以上の使用用途があり、かつ不特定多数の者が利用する建物
- 非特定複合用途の建物
事務所や倉庫、共同住宅などが混在するが、特定の人しか出入りしない建物



事業所における火災対策

建物火災の**約39%**が乾燥しやすい**冬季(12~3月)**に集中しています。火器器具の使用に加え、日常点検の見直しなど、下記を参考に火災対策を実施しましょう。

新しい火災原因と対策

モバイルバッテリー火災の防止

- ◆ リチウムイオン電池の場合、落としたものや、ぶつけたものは使わない
- ◆ PSEマークの付いたものを使う
- ▶ PSEマークとは?
電気用品安全法に基づき、電気製品が安全性を満たしていることを示すマーク



火器器具を正しく使用する

石油ストーブや電気ストーブを使っている場合は、灯油の入れ方や、ストーブの周りに燃えやすいものを置いていないか注意をしましょう。

日常点検の見直し

始業・終業時の確認
チェックリストの活用
責任者による定期確認



電気火災への備え

定期的な配線点検
適正な電気容量の管理
古い電気機器の交換
タコ足配線への注意



従業員教育の充実

消火器の使用法訓練
避難経路・方法の確認
通報訓練の実施



放火対策

建物周辺の可燃物の撤去
防犯カメラ・センサーライトの設置
施錠管理の徹底

設備の維持管理

消防用設備の点検
避難施設の維持管理
防火区画の適正管理



たばこの防火対策

吸い殻の完全消火確認の徹底
可燃物から十分な距離を確保する
喫煙ルールを周知する

たくさんのご応募
ありがとうございました!!

東京都から
のお知らせ

好評の【事業所防災リーダー優良企業認定制度】と
【企業防災アドバイザー支援事業】は令和6年度の募集を終了しました。

企業防災に役立つオンラインセミナーの動画をYouTubeで公開しています。ぜひ、ご活用ください。

◆詳細: https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/kitaku_portal/1000048/1028256/1028257.html

